

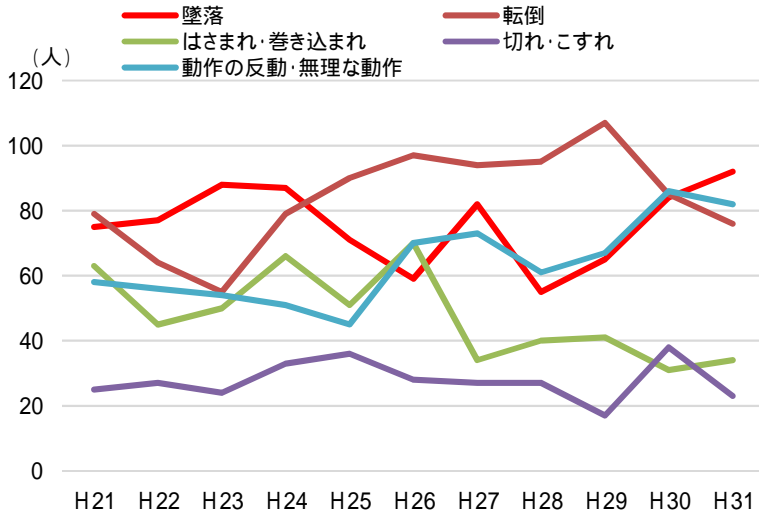
転倒・墜落災害をなくそう!!

向島労働基準監督署

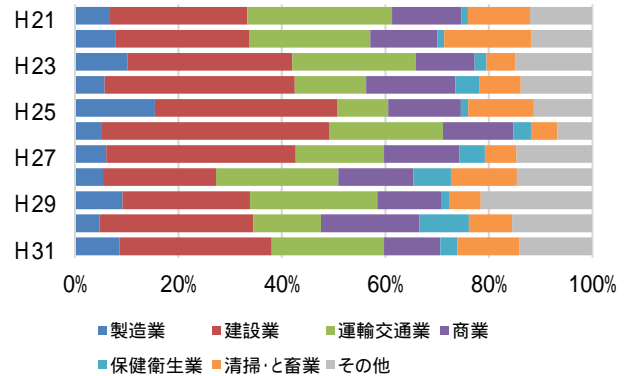


第13次労働災害防止計画(3年度) 推進中

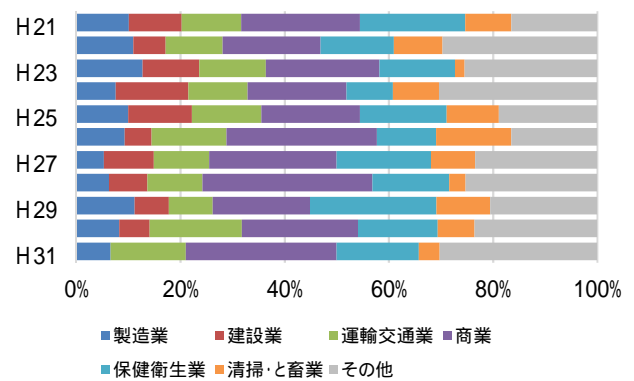
多発する転倒災害、墜落災害、動作の反動・無理な動作災害



平成21年以降の墜落災害(業種別)



平成21年以降の転倒災害(業種別)



転倒災害防止に係る安全教育

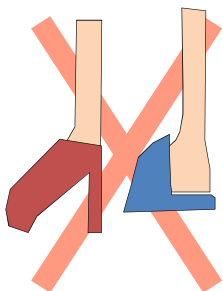
朝礼、会議等の場で転倒防止に係る教育

(転倒災害事例や災害の特徴・危険の高い箇所・対策等)



前方(足下) 見えない
走る (急ぐ)
~しながら (操作)(携帯)

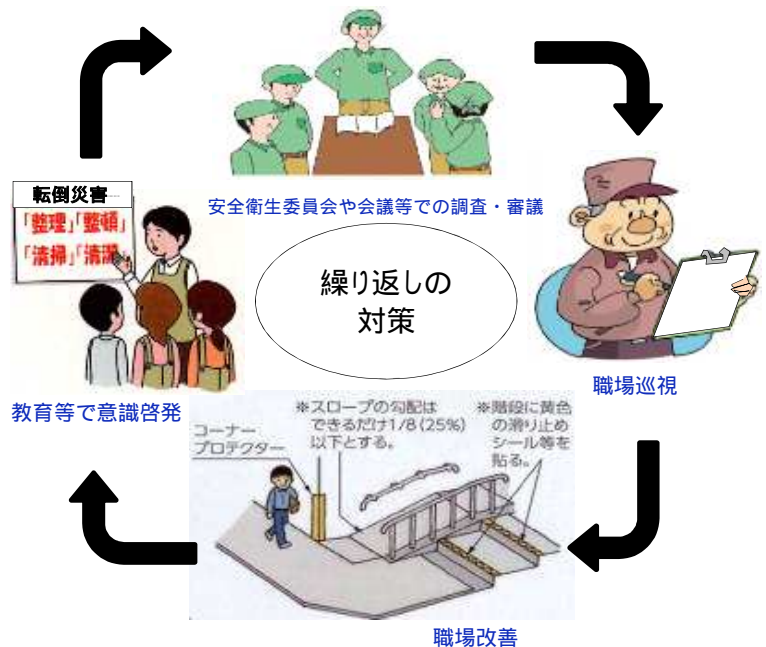
まず、**急がない(走らない)**ことの徹底を!



適切な履き物



体操も有効な対策
(体をほぐす・体力づくり)



墜落災害防止対策

1. はしご等（脚立・立ち馬・はしご）

まず検討！

【手すり付き脚立(例)】 【可搬式作業台(例)】

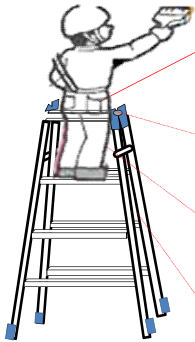
はしごや脚立の**使用自体を避ける**

墜落の危険性が相対的に低い用具へ変更

(ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等)



使用する場合の「**ルールの定め**」「**安全使用のポイント**を」教育

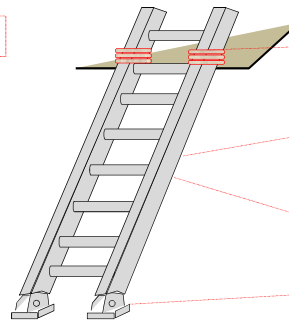


身を乗り出さない(位置を直す)

天板作業禁止

反動のある作業しない

3点支持での昇降



はしご上端固定・突き出し

はしご上作業しない

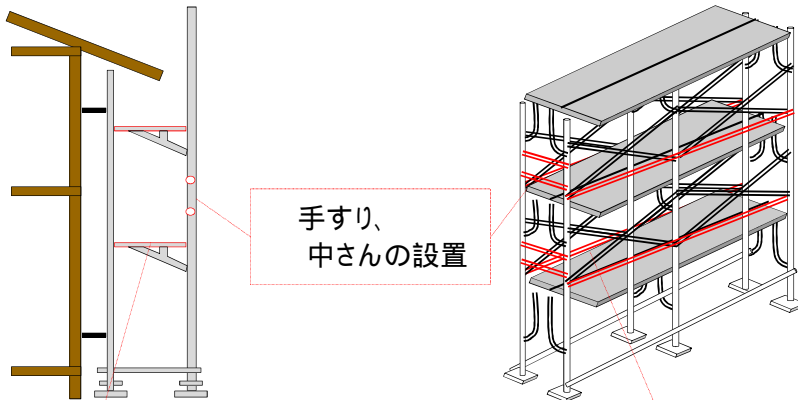
3点支持での昇降

滑動防止(又は補助)

【脚立の使い方のポイント】 脚立の種類などで異なる場合があります
作業前に、設置場所、開き止めのロック、脚部などを点検します
脚立は平坦で安定した、滑りにくい、沈まない場所に水平に設置します
脱げやすい又は滑りやすい履物などは履かないようにします
脚立は天板から2段目以下の踏みさんを使用します
身を乗り出したり、頭の真上での作業などはしないように
両手で作業する場合は作業床のある可搬式作業台が有効です
墜落した時などに頭部を保護するためのヘルメットの着用が有効です
荷物を持つての昇降は避けます
足元が高さ2メートル以上となる脚立の単独使用は禁止です

2. 足場等

原則、**枠組・本足場(幅40cm以上)**を採用



手すり、
中さんの設置

作業床の確保
(幅40cm以上)

下さんの設置
躯体側も必要に応じて

足場からの墜落・転落災害防止
総合対策推進要綱

足場に関する
作業段階ごとの
留意事項

設計時
組立て/解体時
作業時



詳しくはこちら

足場 総合対策

検索